

平成27年度 第2回
栃木西部地域会議会議録

平成27年6月23日(火)
栃木市寺尾公民館大交流室

栃木西部地域まちづくりセンター

会 議 録

会議の名称	平成27年度第2回 栃木西部地域会議
開催日時	平成27年6月23日(火) 19時 開会 20時40分 閉会
開催場所	寺尾公民館大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長 事務局	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>①地域予算提案制度取扱事業について</p> <p>〈説明〉</p> <p>事務局に対して説明を求める。</p> <p>本日までに受け取りました提案書を読み上げさせていただきます。その後に提案された委員さんから補足がありましたら追加説明をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種行事及び催事用時使用テント準備について ・休耕地及び非耕作地整備作業補助金について(小、中、高校生の通学路に面した道路) ・栃木西部地域における育児支援事業 ・健康づくり事業 ・栃木西部地域における公園整備事業 ・運動場整備事業 ・各自治会の場所の案内板 ・空地の有効活用事業 ・花街道整備事業 ・永野川桜堤整備事業 ・星野遺跡管理事業 ・栃木西部地域地誌作成事業 ・永野川堤防遊歩道整備事業

	<p>〈質問〉</p>
会長	委員に対して、質問を求める。
委員	提案するにあたり、少人数で検討してみてもどうか。
会長	全体会議だけではなく、専門部会をつくってみてもどうかについて意見を求める。
委員	提案までの期間が短い。西部地域を通る永野川整備を考えたが、県所有のため該当にはならないと思う。組織をつくる前にもう少し提案について全体で考えたい。
委員	総合計画のまちづくりキーワードである安心、安全・教育・子育て健康というテーマに絞り、それぞれの提案に沿った予算要求をしてはどうか。
会長	テーマを絞って検討することについて意見を求める。
委員	地域予算提案制度に対する委員の理解が不十分であると思える。今回の提案を参考に次回もう1度提案について考えたい。もう少し時間をかけて検討したい。
委員	限られた予算なので小さな提案をたくさん出すのではなく、テーマを絞り西部地域会議の創意として提案をしたい。
委員	皆川、吹上、寺尾それぞれ地域性が違うので共通のテーマを見つけるのは難しい。
会長	3地域が共通のテーマを見つけて、西部地域として提案できないか。
委員	何度も申し上げるが、提案までの期間が短い。今出ている提案の中から対象となる事業を洗い出して、限られた予算の中で何ができるかを検討するべき。そのうえで、あらたな提案が出るか考えた方がいい。
会長	事務局として何か案はあるか。
事務局	8月中旬には地域の合意を得るというスケジュールになっているので、本日頂いた提案を事務局が市の担当課と協議をしたうえで、次回会議で検討できればと考えている。
委員	育児支援事業については健康増進課管轄で母子保健推進委員協議会として、若い母親の育児相談にのっている。活動内容としては、各地域でふれあいの集いを年3回程度開催し参加してもらっている。育児支援事業は非常に大切と感じているので、3地域合同で取り組んでいきたい。
委員	育児支援事業のイメージは、具体的には困ったときにすぐに対応してもらえる育児ヘルパーを考えている。
委員	母子保健推進員協議会が少人数で苦勞しながら活動しているのは承知している。推進員活動の強化や育児ヘルパーの登用等を提案としてあげられるか市の担当課と調整してもらいたい。
会長	ここでどの事業を選択するか検討するよりも、事務局から市の担当課と調整を図ってもらいたい事務局の考えを聴きたい。
事務局	9月末には事業計画案を市長に提出しなければならないので、6月30日までに新規提案及び提案の校正をお願いしたい。7月に入り事務局で市の担当課と調整を図り次回7月28日の会議の際に調整結果を委員の皆さんに精査していきたい。

会長	<p>〈採決〉</p> <p>質問がないので今の事務局の説明でよろしいか異議の有無を確認する。</p> <p>〈異議なしの声あり〉</p>
会長	<p>異議がないと認め、地域予算提案制度取扱事業については6月30日までに提出された案を事務局が市の担当課と調整することとする。</p>
会長 事務局	<p>②認定まちづくり実働組織について</p> <p>〈説明〉</p> <p>事務局に対し、説明を求める。</p> <p>「地域会議委員の手引き」に基づいて説明する。</p> <p>〈質問〉</p>
会長 委員 事務局	<p>委員に対して、質問を求める。</p> <p>必ず組織をつくらなくてはならないのか。</p> <p>組織をつくることのできるということである。実働組織をつくることで栃木市地域づくり支援事業補助金を受けることができる。補助金は1地域会議あたり100万円が限度額であるが、皆川、吹上、寺尾それぞれに実働組織をつくることと上限は各地区30万円となる。</p>
委員 事務局	<p>3地区を1つにして組織をつくることは難しい。現在のまちづくり協議会をそのまま実働組織として見直していけばいいのでは。</p> <p>実働組織の活動イメージは現在のまちづくり協議会の活動に類似していると考えられる。</p>
会長	<p>〈採決〉</p> <p>質問がないので、「認定まちづくり実働組織について」の西部地域は皆川、吹上、寺尾それぞれの地区で組織することについての異議の有無を確認する。</p> <p>〈異議なしの声あり〉</p>
会長	<p>異議がないと認め、西部地域は皆川、吹上、寺尾それぞれの地区で組織することとする。</p>
会長 事務局	<p>③広報について</p> <p>〈説明〉</p> <p>事務局に対し、説明を求める。</p> <p>全世帯配布で広報とちぎ8月号に折り込むこと等、広報のイメージについて説明する。</p>
会長 会長 会長	<p>〈質問〉</p> <p>委員に対して、質問を求める。</p> <p>質問がないようなので説明のとおり広報を作成する。</p>
	<p>④各種委員の推薦について</p> <p>〈説明〉</p>

会長 事務局	事務局に対し、説明を求める。 資料に基づいて説明する。 〈意見〉
委員	地域の歴史に精通している方が望ましいとのことなので、まちづくり協議会には歴史文化委員会があると思うのでそこから選出してはどうか。 〈採決〉
会長	栃木市文化振興計画推進懇談会委員の推薦依頼について、酒巻委員を推薦することについての異議の有無を確認する。 〈異議なしの声あり〉
会長	異議がないと認め、酒巻委員を推薦することを確認する。本日の議事は全て終了したので、進行を事務局に返す。
	4 その他
	平成27年度第3回栃木西部地域会議について 〈説明〉
事務局	平成27年7月28日（火）吹上公民館大交流室で開催。
事務局	以上で本日の会議は全て終了する。 ——閉会—— (会議終了時刻 午後8時40分)

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会長 癸生川 孔章
副会長 関口 茂一郎
委員 飯塚 昌宏
委員 大阿久 妙子
委員 大島 千恵子
委員 大橋 利隆
委員 鯉沼 政江
委員 酒巻 幸夫
委員 野原 保

副会長 浅野 照男
委員 白倉 由美子
委員 大阿久 安弘
委員 大塚 正江
委員 鯉沼 恵子
委員 小林 雄一
委員 寺内 富士男

欠席者（委員）

なし

事務局

天海 俊充（地域まちづくり課課長）
茂木 隆（栃木西部まちづくりセンター所長）
大塚 治男（皆川公民館館長）
青木 一忠（寺尾公民館館長）
熊谷 充晴（吹上公民館主査）

その他出席者

なし

別紙2 会議事項

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - ① 地域予算提案制度取扱事業について
 - ② 認定まちづくり実働組織について
 - ③ 広報について
 - ④ 委員の推薦について
- 4 その他
 - 平成27年度第3回栃木西部地域会議について
- 5 閉 会

配付資料一覧

平成27年度第2回栃木西部地域会議会議次第
地域予算提案制度取扱事業の提案書（提出分）